

研修会報告

自らの実践につなげるために！

置賜教育事務所では、今年度も各種研修会を開催しています。どの研修会においても参加された先生方からは、一つでも多くのことを持ち帰り自らの実践につなげようという、熱意が感じられました。

その中から、「初任者研修『少年自然の家等における宿泊研修』」と「小学校体育実技指導者講習会」について紹介します。

初任者研修「少年自然の家等における宿泊研修」

8/7（水）～9（金） 飯豊少年自然の家 他

飯豊少年自然の家で、小・中学校の初任者、管内の高等学校と米沢養護学校の初任者、新規採用養護教諭、及び新規採用栄養教諭、総勢65名で、2泊3日の宿泊研修を行いました。研修のねらいは、「校外学習の指導の基本の習得」「初任者同士の交流」「教員・社会人としてのあいさつ・公共のマナーの徹底」です。

「野外炊飯研修」では、自然の家の研修主事から、野外活動を行うにあたっての留意点を教えていただきながら、協力してカレー作りに取り組みました。役割分担の重要性、火や“なた”を使う時の安全面に対する指導事項を学ぶことができました。「班別自主研修」では、1日目に班ごとに行きたい場所を話し合ったり、交通機関の時刻を調べたりして計画を立てました。2日目、計画をもとに置賜を回り、自分たちの勤務地、置賜のよさを再発見しました。3日目は報告会を行うとともに、校外学習での安全について確認しました。

どの活動においても、「参加者」として主体的、協働的に学ぶとともに、「指導者」として子供の動きやつまずきを想定しながら、安全面での配慮事項について自らの体験をもとに学ぶことができました。また、本研修ではどの場面でも、あいさつに意識して取り組みました。学校に戻っても、社会人として心がけたいものです。

今年度の初任者研修は、原則として2班に分かれての研修となっているため、初任者が一堂に会する機会は多くありません。本研修は、同期採用の初任者としての絆を深める絶好の機会となりました。ここでできた絆は、これから長く続く教員生活の支えとなるはずです。



～参加された先生方の声～

- ・自然の家の所長さんのお話から、特に「見守るスタンスで」という点が一番なるほどなと思いました。学校の活動では、時間を守ることを真っ先に考えてしまいがちですが、子供たち同士の学びの場では、十分に時間を確保した上で、学びが深まるように見守ったり待ったりすることも必要だと改めて感じました。
- ・多くの人に助けていただき、自分の至らない点、よさに気づきました。また、子供たちに会いたくなりました。早く、学んだことを伝えられるように考えていきたいです。
- ・あいさつに心をこめることを意識したいです。例えば、頭を下げること、一言つけ足すことをこれから行っていきたいです。学校に帰っても、子供達や保護者、周りの先生方に対する礼儀、あいさつを怠らず、がんばりたいです。

小学校体育実技指導者講習会

6/18 (火) ワトワセンター南陽、南陽市立沖郷小学校

米沢市立南部小学校 岩井達也教諭に講師を務めていただき、午前は講義「新学習指導要領を踏まえた体育・保健体育の考え方・体育授業における事故防止」等、午後は実技「器械運動系」を実施しました。「講義」「実技」について主な内容を紹介します。

講義

①新学習指導要領について、改訂の趣旨、評価の考え方について教えていただきました。新学習指導要領においては、深い学びの鍵として「見方・考え方」を働かせることが示されています。「体育の見方・考え方」については、生涯にわたる豊かなスポーツライフを実現する観点を踏まえ、「運動やスポーツを、その価値や特性に着目して、楽しさや喜びとともに体力の向上に果たす役割の観点から捉え、自己の適性等に応じた『する・みる・支える・知る』の多様な関わり方と関連付けること」が重要であることを教えていただきました。

②体育授業における事故防止では、「多少のけがはつきもの」という考えを捨て、安全管理・安全教育を徹底すること、また、児童生徒自身の管理能力を育てることも大切であることを教えていただきました。

実技

自分も器械運動が苦手…という先生が多く、序盤は後ずさり気味でしたが、苦手な方も積極的に取り組めるような、スモールステップの学習過程、安全に配慮した場の設定、補助の仕方を学ぶことで積極的な姿に変わっていきました。「子供達は何に不安を感じているのか」、「どうすれば不安を取り除くことができるのか」ということを実感することができました。



～参加された先生方の声～

- ・自分自身鉄棒が苦手で、指導も大変に感じていました。講習会で技にせまる動きやポイントについて知ることができたので、ぜひやってみたいと思いました。
- ・これまでは、すぐ技に取り組んでいましたが、その技に対して段階的に取り組んだほうが習得しやすいことがわかりました。一つ一つのステップを小さくして、児童が「できた」という感覚を積み重ねられるように、指導していきたいと思います。

情報提供

「キャリア・パスポート」について



「キャリア・パスポート」とは、児童生徒が、小学校から高等学校までのキャリア教育に関わる諸活動について、学級活動を中心として各教科等と往還し、自らの学習状況やキャリア形成を見通したり振り返ったりしながら、自身の変容や成長を自己評価できるよう工夫されたポートフォリオのことです。新しい学習指導要領にその活用について明記され(※)、2020年4月からすべての小学校、中学校、高等学校において実施することになります。

※小学校(中学校)学習指導要領 特別活動 第2〔学級活動〕3内容の取扱い(2)より

「～(前略)～ その際、児童(生徒)が活動を記録し蓄積する教材等を活用すること。」

県教育委員会としましては、今年12月を目途に山形県版の「キャリア・パスポート」(小学校用・中学校用)を作成し、お示しする予定です。